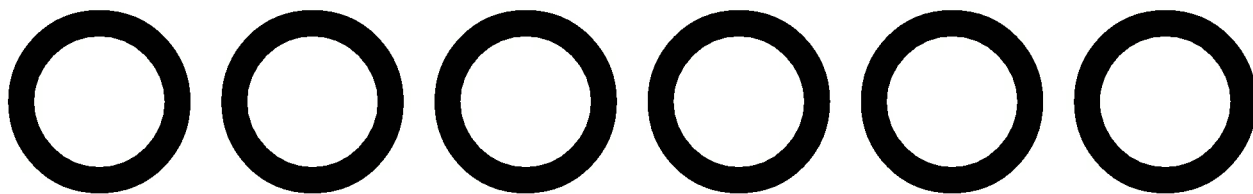


天竜区版



浜松市 区版避難行動計画

【この冊子でやって欲しい3つのこと】

1 避難場所を決める

①「1. 災害から身を守る」を読む

P1~P16

②家族で避難場所を考え、折込の「防災マップ」の地図やメモ欄に記入する

避難経路の決め方はP25へ

2 防災マップを目の付きやすい所に貼る

「防災マップ」に避難所などを書き込んだら、毎日目にする災害時も安全な所に貼ってこよう

3 My 防災カードをつくる

「防災カード」に、自分の名前、緊急連絡先、避難所などを記入し、かばんや財布などに入れて常に携帯する（家族みんながそれぞれ携帯しよう！）

折込の「防災カード」へ

※ページ数は変更になることがあります。
※イラストについては仮の内容です。

- 目次 -

- 1.災害から身を守る ……1
 - 天竜区の災害特性 ……1
 - 災害時の避難行動 ……3
 - 土砂災害 ……3
 - 風水害 ……5
 - 地震 ……7
 - 天竜区防災施設マップ ……9
 - 危険箇所・被害想定 ……11
- 2.災害に備える ……17
 - 情報を得る ……17
 - 事前にできること ……19
 - 災害時に役立つ知識 ……22
 - 要介護者のためにできること ……23
 - 自主防災隊でできること ……24
- 3.わが家の防災チェック ……25
 - 避難経路の決め方 ……25
 - 防災カードの書き方 ……25
 - チェックリスト ……裏面

(折込) 防災マップ、防災カード

1. 災害から身を守る 天竜区の災害特性

水窪地区

標高が概ね0m以上の、□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
青崩峠から南西方向に中央構造線
が走っており□□□□□□□□□□
地質は□□□、中央構造線の影響
を受けて□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□

※地質や災害履歴等を見やすく

佐久間地区

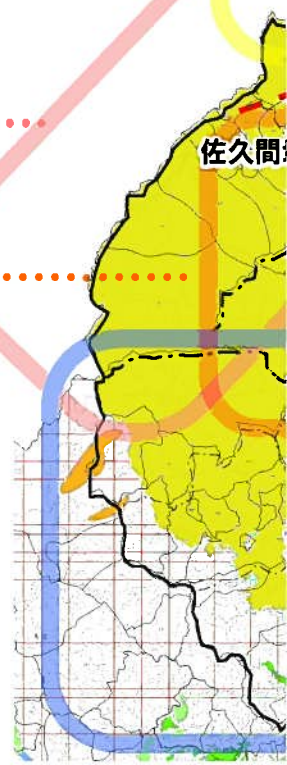
標高が0m から0mの、□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
地区の北部から南西方向に中央構
造線が走っており□□□□□□□□□□
地質は□□□、中央構造線の影響
を受けて□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□

龍山地区

標高が0m から0mの、□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
地質は□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
地震時は、□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□

天竜地区

標高が0m から0mの、□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
地質は□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
地震時は、□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□



災害時の避難行動

土砂災害 地震の後、激しい雨や長雨の時など土砂災害に警戒を！ 自宅が土砂災害危険箇所なのか「防災マップ」で確かめておきましょう！

自分が住んでいる場所が土砂災害の危険性がある人は危ないと感じたら
避難情報を待たずに避難しよう！

- 土砂災害危険箇所の近くに自分の住んでいるところがある
- 自宅が山や崖地に近い

土砂災害危険箇所をP11~14
もしくは「防災マップ」で確認

- 降雨の状況に注意！
 - ・雨が1時間に20mm以上になった
 - ・降り始めてから100mm以上になった

- 裏山や崖地の状態に注意！
普段と違う現象は起きてないか… ページ下の前兆現象を確認

危険を感じたら、
安全と思われる場所に避難！

土砂災害発生前の避難方法

時間がある場合

避難所へ近所の人と
一緒に避難

時間がない場合

(避難所が遠い、夜間や風雨で
避難所に向かうのは危険など)

避難所でなくても近くの安全な家など、
身の安全が守れる場所へ

緊急事態

家の中で斜面に一番遠い
2階の部屋へ移動
(最低限の危険回避を)

避難する前には連絡を！ ➡ 安全な服装で避難

雨が止んでも注意が必要

日頃から近くの崖地に注意を払って！

近くに崖地がある地域では、日頃から崖地の様子に注意し、前兆現象や異常現象にいち早く気づき、
自主避難することが重要です

崖崩れの前兆現象

地すべりの前兆現象

土石流の前兆現象

避難情報を入手した場合

避難情報はあくまで参考情報として
危険を感じたら自分の判断で避難を！

情報など	状況	このように行動してください
情報収集	・大雨注意報が発令(静岡地方気象台)	・テレビ、ラジオ等により気象情報に注意する
	・大雨警報が発令(静岡地方気象台)	・崖地近くに住む人は、崖地周辺の異常な現象に注意する
避難準備情報	・土砂災害警戒情報が発表(静岡地方気象台、静岡県)	避難準備・自主避難 ・引き続き情報に注意する ・崖崩れや河川の氾濫などに気がついた場合には区役所や消防署に通報する ・避難準備をする ・避難に時間を要する人は避難所へ避難を開始する
避難勧告	・	・
避難指示	・	・

危険

崖崩れや河川の氾濫などを発見したら

連絡先

風水害

激しい雨の時、台風の際は水害に警戒を！

自分が住んでいる場所に危険が迫ったら、避難情報を待たずに避難しよう！

降雨の状況や河川の水位上昇の状況から、自分が住んでいる場所の危険を判断しましょう。

避難時の注意点

時間がある場合

近所の人と一緒に避難所へ

時間がない場合 避難所が遠い場合

冠水が始まっている状況や雨の激しい時、強風時は外に出るのは危険！

中小河川の氾濫の場合⇒自宅の2階以上に避難

土砂災害にも注意！

避難する前に連絡を！



動きやすい服装で避難



車は控えて歩いて避難



浸水箇所を歩行する時は

たとえ10cmの浸水でも足元が見えず危険！

浅くても注意

足元に注意

危険な場所には近づかないで！

増水した河川は大変危険！
危険な場所に近づかず、自宅で賢く水位情報を入手しよう

静岡県土木総合防災情報「サイポスレーダー」

天竜区でライブ映像が見られる地点（昼間）

天竜川（鹿島橋上流、気田川合流点、
竜山大橋下流、瀬尻橋）

大千瀬川（佐久間地域自治センター、中部大橋、
天竜川大千瀬川、下川合、浦川等）

天竜区で水位が分かる場所を紹介

二俣川、阿多古川、気田川、水窪川等

河川の水位情報

河川名	観測所	水位 (m)		
		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
二俣川	双竜橋	2.50	—	—
	相生橋	2.20	—	—
阿多古川	青谷橋	2.91	—	—
	両島橋	2.50	3.10	4.50
気田川	松間大橋	4.58	—	—
水窪川	水窪大橋	4.00	—	—



雨の降り方と雨量（1時間）の目安

停電時は携帯ラジオなどで情報収集を
川や崖地の近くの方は、大雨となる前が避難のタイミング

およその1時間雨量	雨の降り方のイメージ	
5～10ミリ	イラスト	雨がトタンを打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる
10～20ミリ	イラスト	雨音で話がよく聞き取れない。一面に水たまりができる
20～30ミリ	イラスト	土砂降りで側溝があふれ、小さな川の氾濫が始まる
30ミリ以上	イラスト	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れやがけ崩れがおきやすい

避難情報が入手できる場合

避難情報はあくまで参考情報として
危険を感じたら自分の判断で避難を！

中小河川の近くにお住まいの方
低い土地に住んでいる方は特に気をつけて情報を聞いてください。

情報	状況	このように行動してください	
		要援護者など、避難に時間が必要な人	それ以外の人
事前情報	浜松市北部に大雨警報、洪水警報が発表された	家族との連絡、非常用持ち出し品の準備を始める	情報に引き続き注意
避難準備情報			
避難勧告			
避難指示			

危険

冠水が始まってから避難や外出すると危険です。
小河川のはん濫時は安全を確認した上で自宅の2階に待機します。

避難情報とは

避難情報	意味
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> 河川はん濫の情報への注意喚起を促し、避難のための準備を呼びかける情報 避難に時間のかかる要援護者などは避難を呼びかける情報
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 河川がはん濫する危険のある水位に達する恐れがあることを知らせ、避難を促す情報
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 河川のはん濫が目前に迫った時や堤防が決壊した時に出され、すみやかな避難を呼びかける情報

地震

東海地震が発生した場合、天竜区では震度5強～震度6強の揺れが予想されています。
地震による被害想定は次のP16へ

地震発生後の避難方法

緊急地震速報を聞いたら

このように行動してください

地震発生!

※地震発生後、絶対に避難所に行く必要はありません。
自宅付近の安全が確認できれば自宅に待機しましょう。

※この避難の流れは、
本策定会議を通じて
まとめていきます

まず自分の身を守る

YES・NOであなたのとるべき行動を確認してください

チェック1
今いる場所は
崖崩れや津波による浸水の恐れがある

YES

近くの安全な場所へすぐ避難

NO

安全を確認後、自宅へ

※避難地へ必ずしも向かう必要
は無く、近くの安全な広場や空
地を普段から確認しておこう

チェック2
自宅が壊れて住めない状態である
余震などで自宅が倒壊しそうである

YES

避難地へ避難

NO

チェック3
自宅に火災が迫っている

YES

避難地に開設される避難所で生活

NO

自宅に待機（在宅避難）

避難地が分からない人…P9へ

東海地震の情報を聞いたら

このように行動してください

東海地震に関連する調査情報



東海地震注意情報



東海地震予知情報



東海地震の発生後はこちら行動しよう

地震発生 1~2分 3分



時間経過ごとの行動

こんな時どうする

1. 屋内にいる

家の中
簡単な説明文



集合住宅やアパート

エレベーターの中

デパート・スーパー

ビル・オフィス

地下街

2. 屋外にいる

路上

電車やバスなどの車内

車の運転中

住宅街

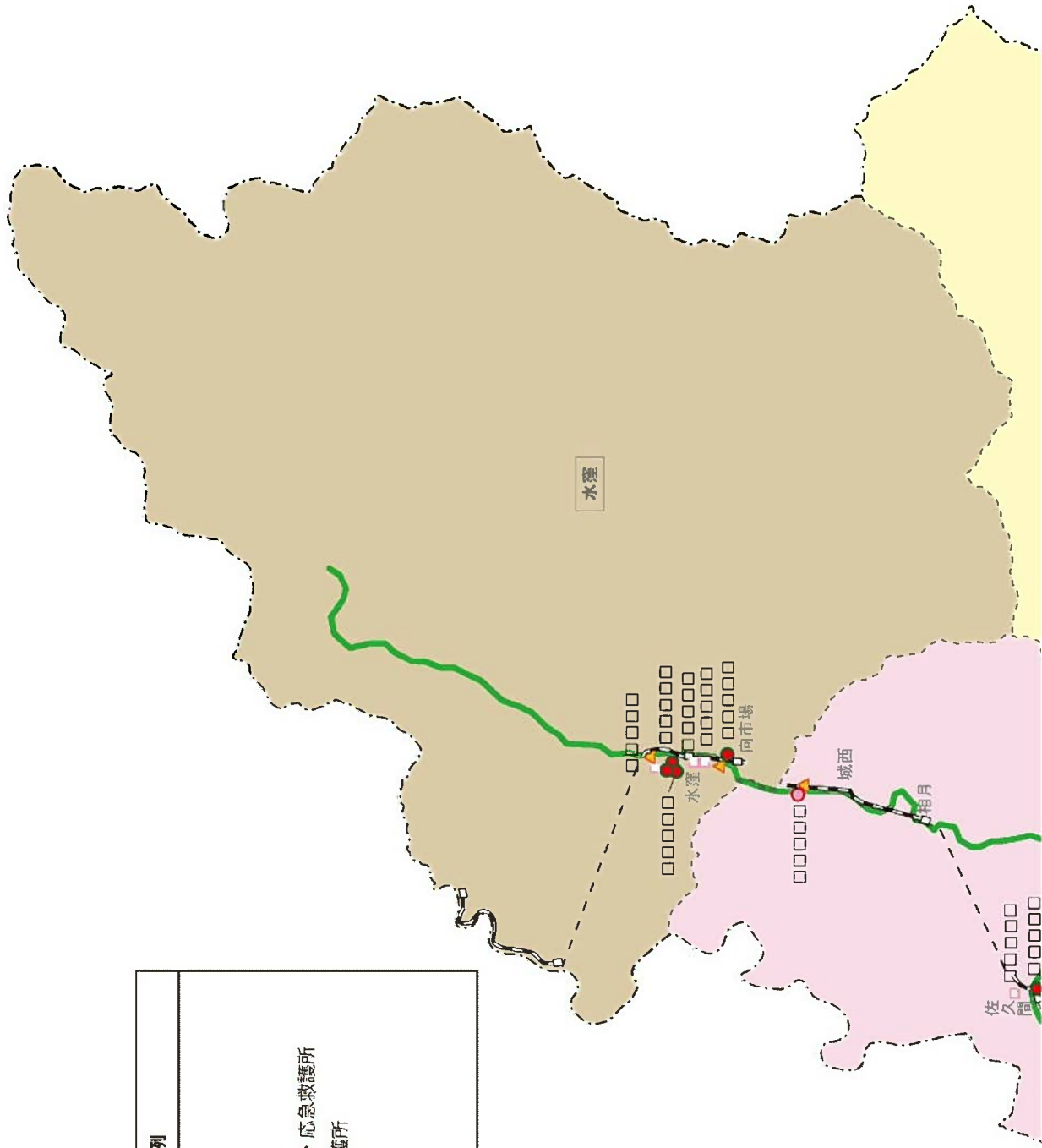
山ぎわや崖地の近く

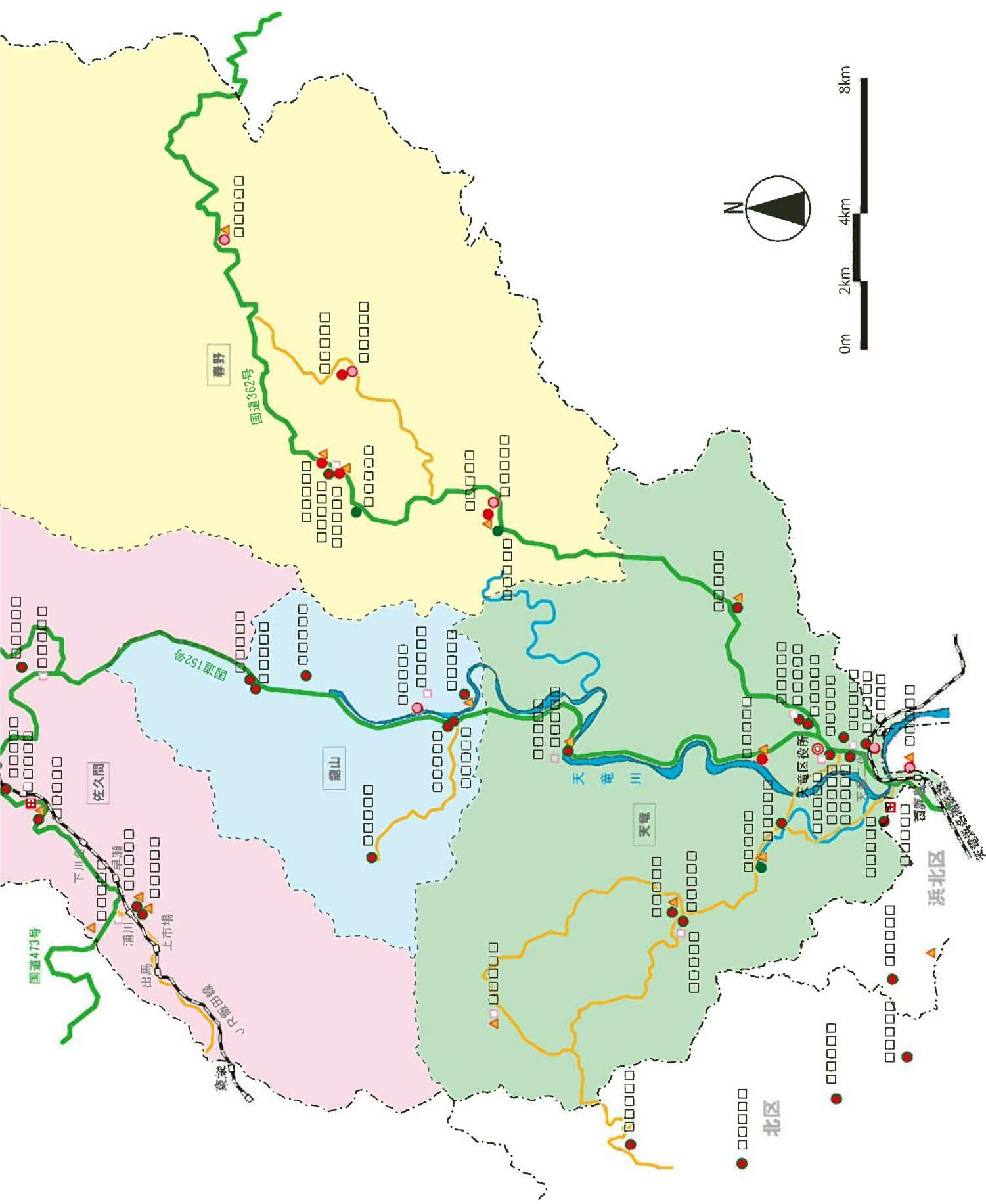
津波の恐れがある場所

天竜区 防災施設マップ

【用語の説明】
 避難地とは □□□□□□
 避難所とは □□□□□□
 応急救護所とは □□□□

凡 例	
●	避難地
●	避難所
●	避難地・避難所
●	避難地・避難所・応急救護所
●	避難所・応急救護所
□	応急救護所
田	救護病院
▲	ヘリポート

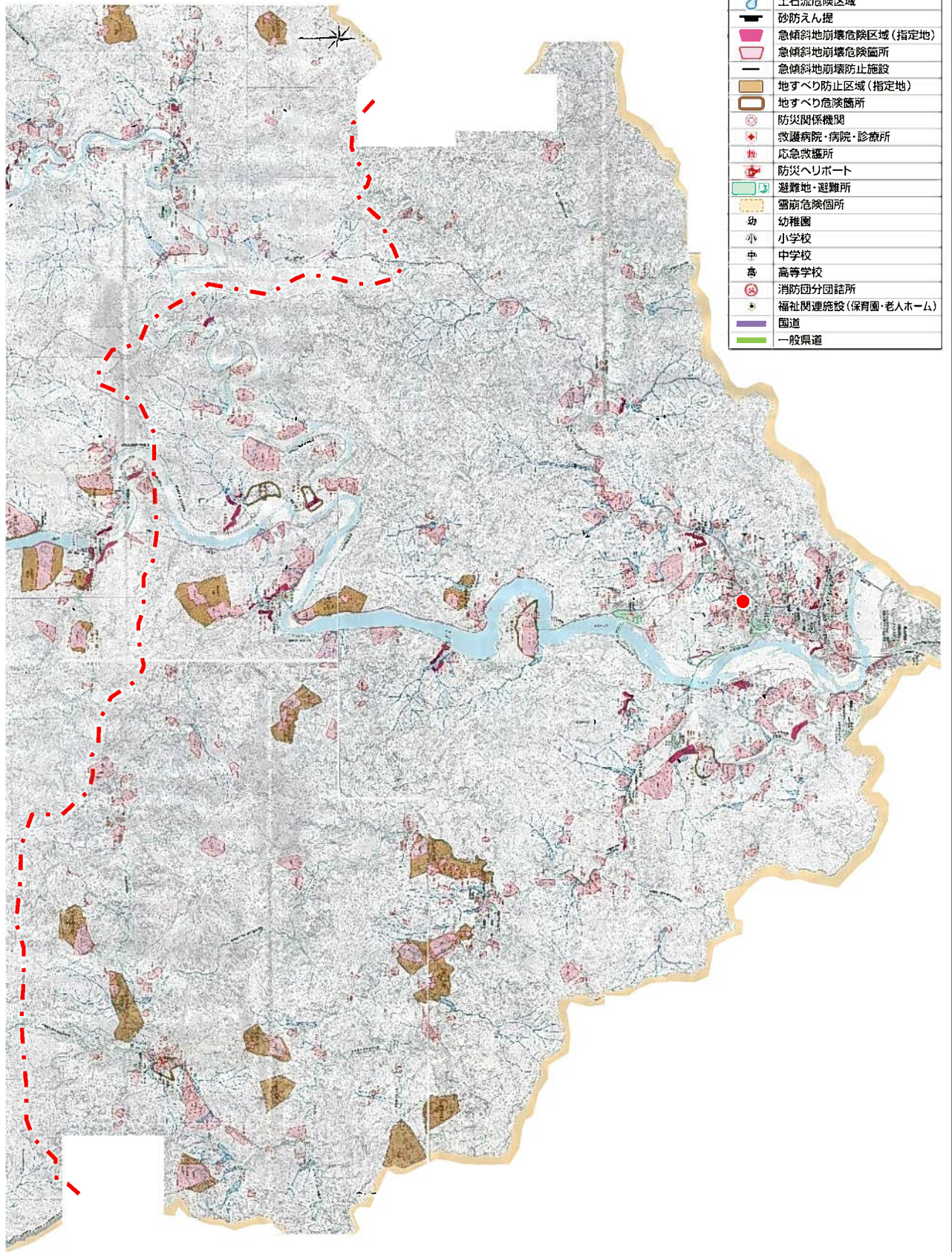




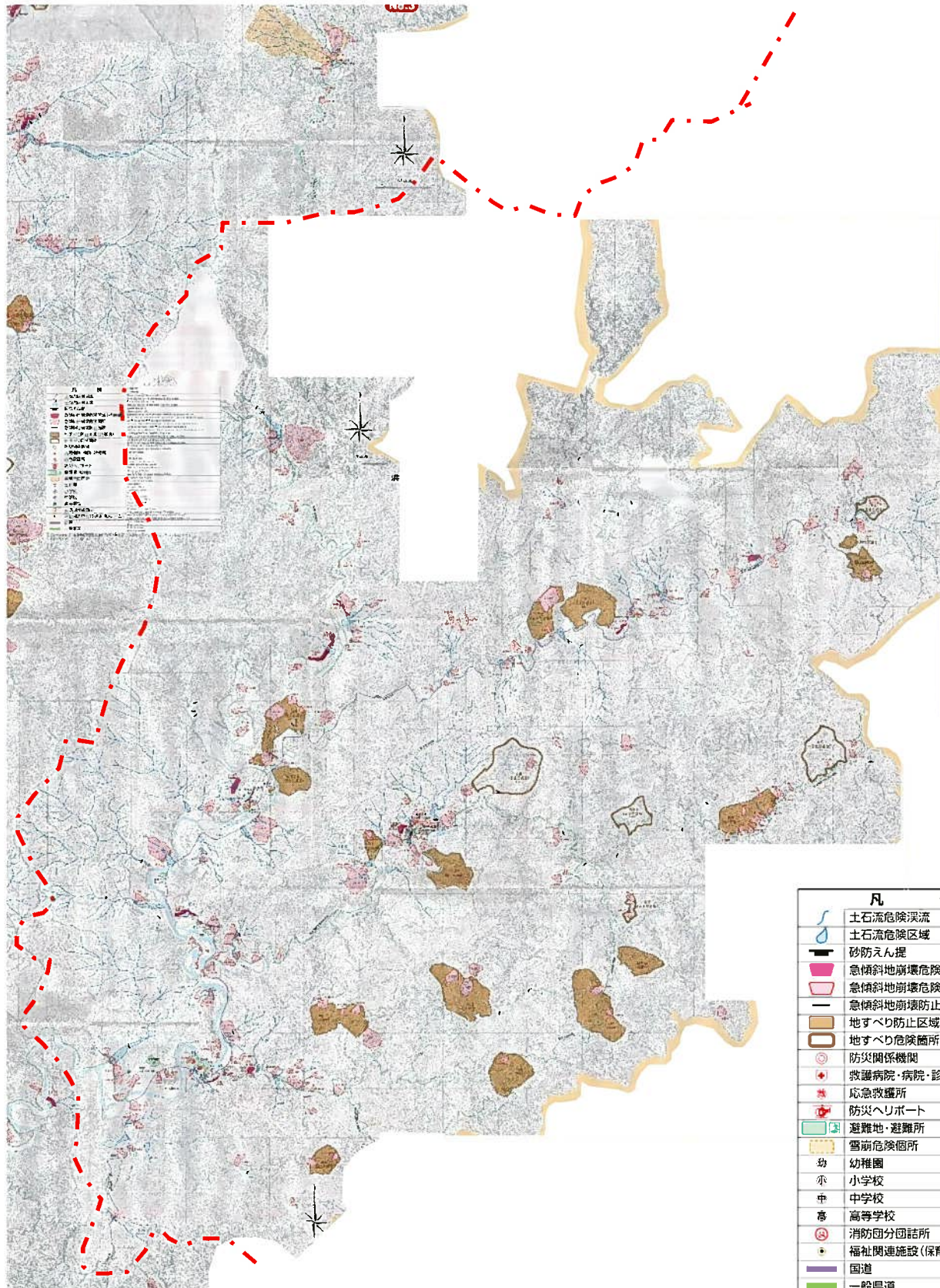
危険箇所・被害想定

土砂災害危険箇所

天竜地区



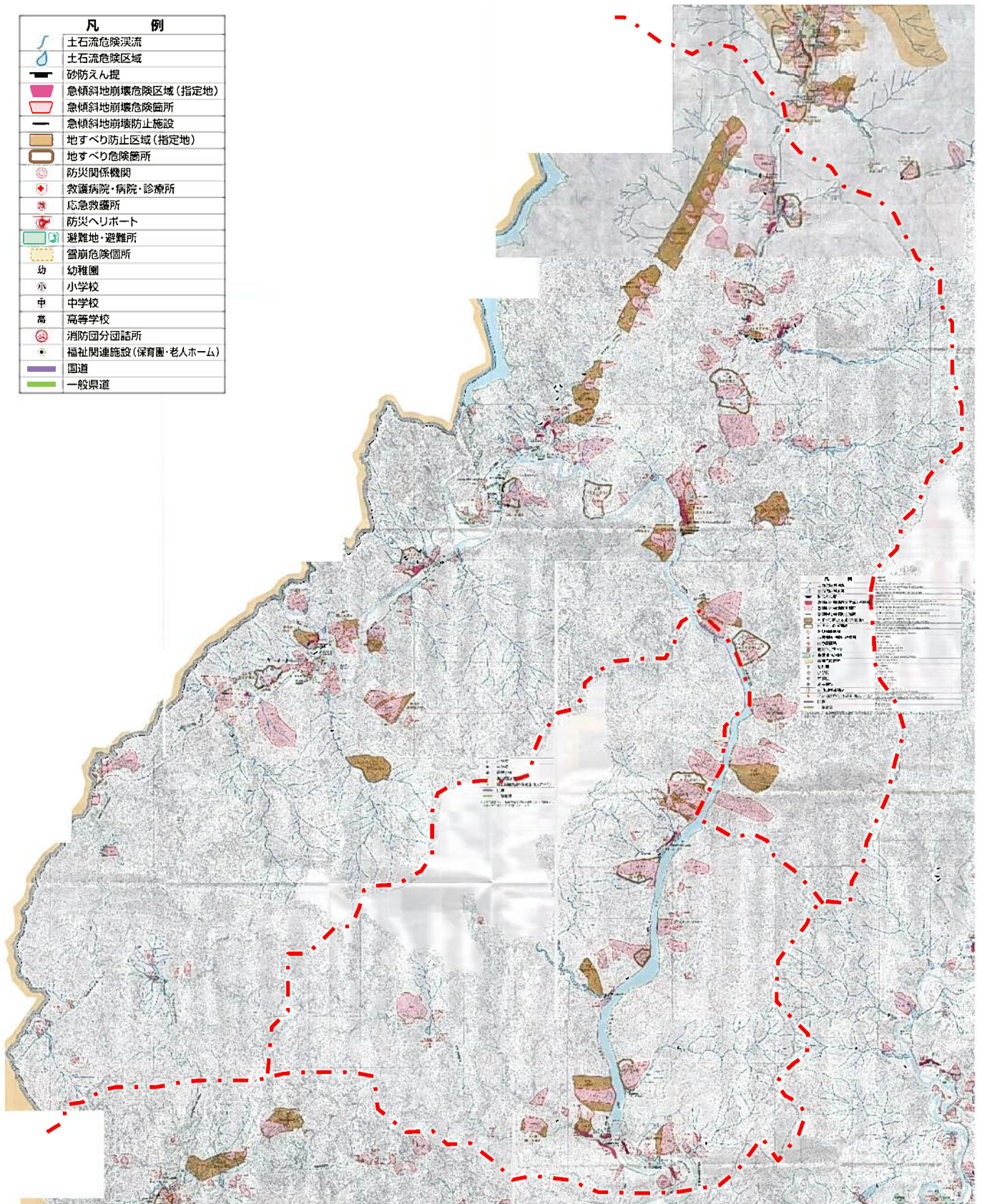
春野地区



凡 例	
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	砂防えん堤
	急傾斜地崩壊危険区域(指定地)
	急傾斜地崩壊危険箇所
	急傾斜地崩壊防止施設
	地すべり防止区域(指定地)
	地すべり危険箇所
	防災関係機関
	救護病院・病院・診療所
	応急救護所
	防災ヘリポート
	避難地・避難所
	雪崩危険箇所
	幼稚園
	小学校
	中学校
	高等学校
	消防団分団詰所
	福祉関連施設(保育園・老人ホーム)
	国道
	一般県道

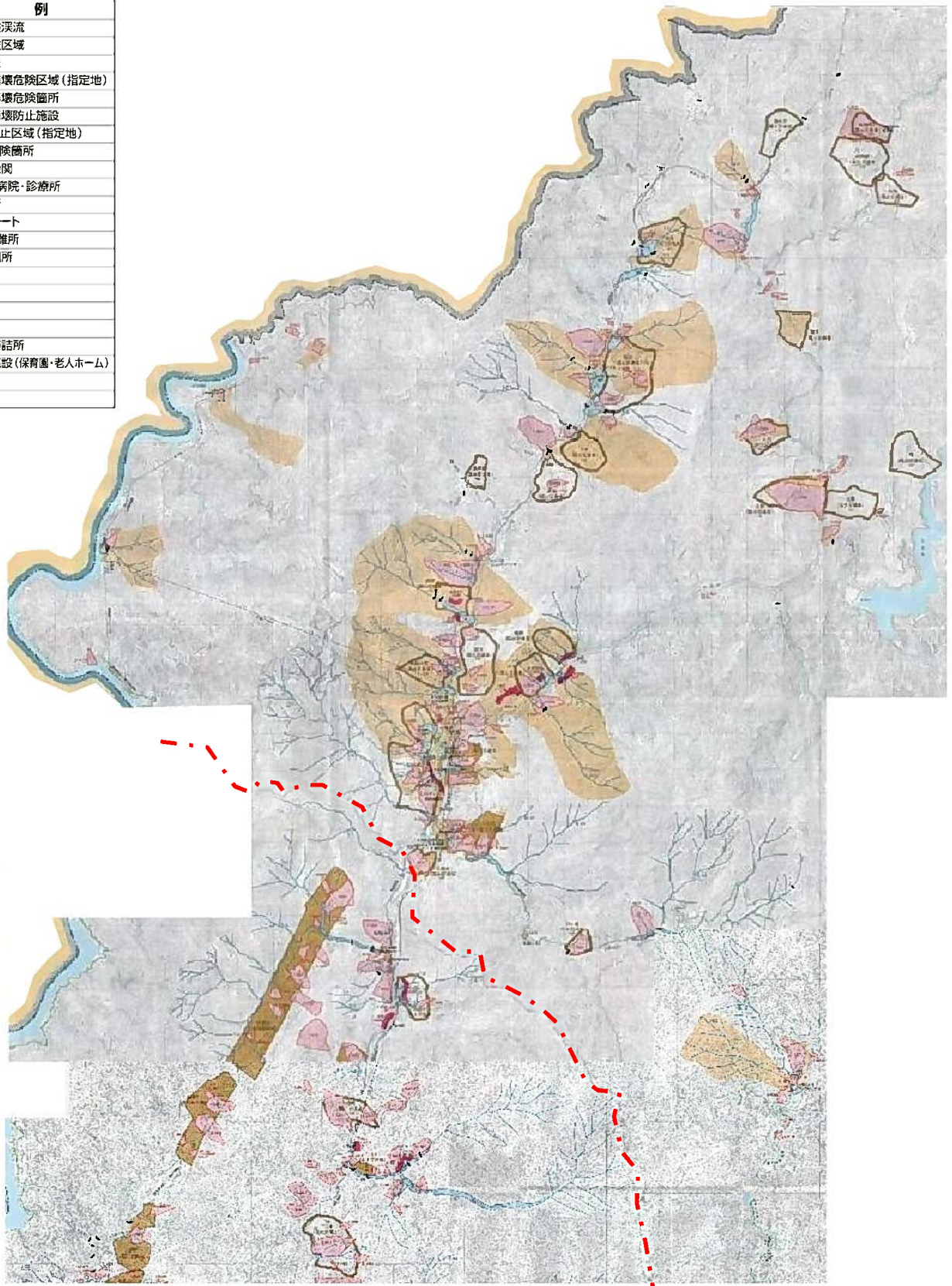
佐久間・龍山地区

凡 例	
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	砂防えん堤
	急傾斜地崩壊危険区域(指定地)
	急傾斜地崩壊危険箇所
	急傾斜地崩壊防止施設
	地すべり防止区域(指定地)
	地すべり危険箇所
	防災関係機関
	救護病院・病院・診療所
	応急救護所
	防災ヘリポート
	避難地・避難所
	雪崩危険箇所
幼	幼稚園
小	小学校
中	中学校
高	高等学校
	消防団分団詰所
	福祉関連施設(保育園・老人ホーム)
	国道
	一般県道

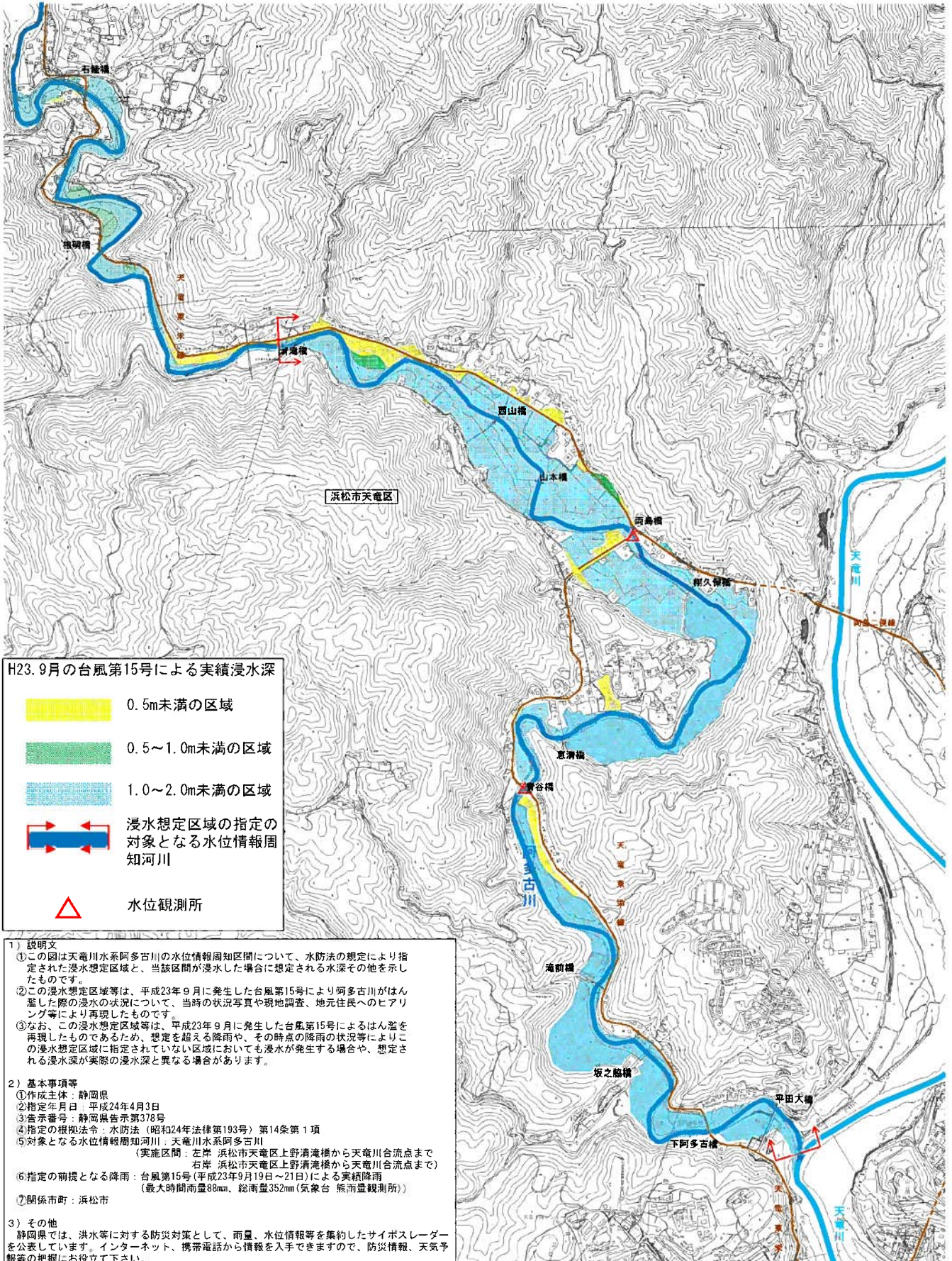


水窪地区

凡 例	
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	砂防えん堤
	急傾斜地崩壊危険区域(指定地)
	急傾斜地崩壊危険箇所
	急傾斜地崩壊防止施設
	地すべり防止区域(指定地)
	地すべり危険箇所
	防災関係機関
	救護病院・病院・診療所
	応急救護所
	防災ヘリポート
	避難地・避難所
	雪崩危険箇所
	幼 幼稚園
	小 小学校
	中 中学校
	高 高等学校
	消防団分団詰所
	福祉関連施設(保育園・老人ホーム)
	国道
	一般県道



阿多古川の氾濫による被害想定

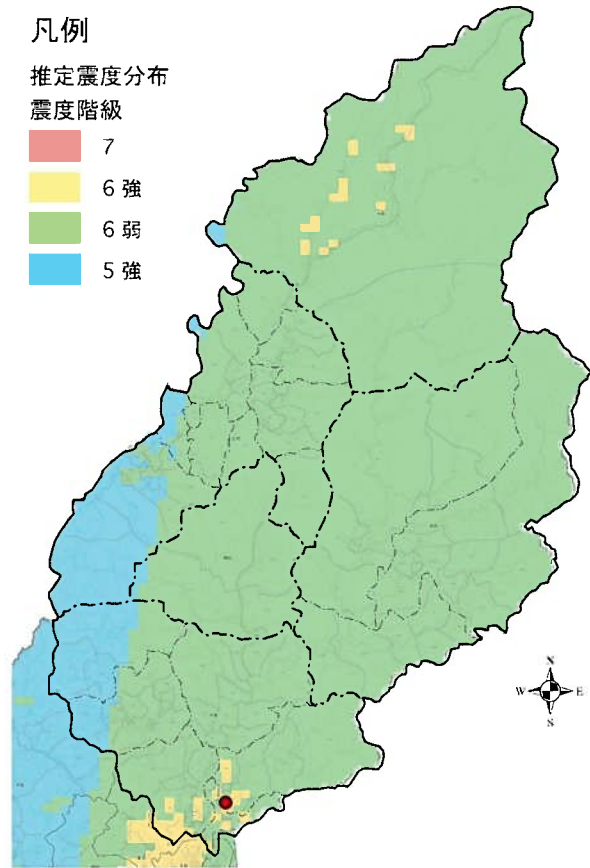


地震の揺れ（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される震度を気象庁震度階級に合わせて推定したものです。

天竜区では概ね震度5弱から震度6強の揺れが発生すると想定されています。

□□□□□□□□□□□□□□

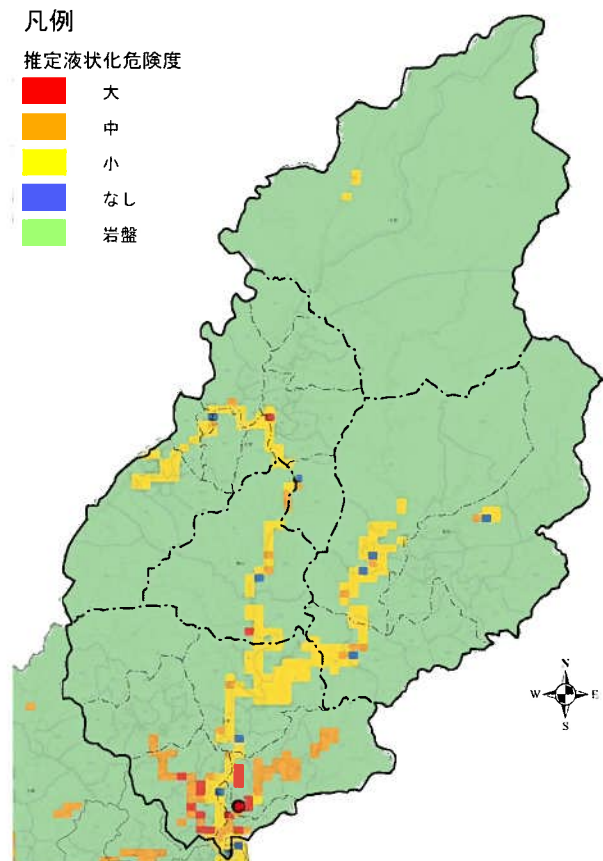


液状化現象（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものです。

天竜区では、天竜川やその支川（阿多古川、気田川、大千瀬川等）沿線において、危険度が高いと想定されています。

これは、河川が運ぶ砂泥質が□□□





●家族や仲間の安否を知る



「災害用伝言ダイヤル」

災害時（震度6弱以上の地震など）にはNTTの災害用伝言ダイヤル「171」が稼働します。

家族や知人の安否を確認するときなどに活用しましょう。

●伝言の録音方法

171→1 → 被災地の人の自宅の電話番号（市外局番から） → 伝言を吹き込む

●伝言の再生方法

171→2 → 被災地の人の自宅の電話番号（市外局番から） → 伝言を聞く

※自分が被災地の人である場合は自宅の電話番号を、被災地以外の人の場合は被災地の人の自宅の電話番号を入れてください。

※音声案内が流れますので、案内に従い落ち着いて利用しましょう。

※毎月1日（1月1日は除く。）は全国で「災害用伝言ダイヤル」の利用体験ができません。



携帯電話の「災害用伝言板」

災害時（震度6弱以上の地震など）に携帯電話サービス会社は「災害用伝言板」を開設します。

被災地の人の安否情報を伝言板に登録でき、登録された伝言は、同じ会社の携帯電話はもちろん、他社の携帯電話やPHS、パソコンからでも見ることができます。

※サービスの詳細は各携帯電話会社にお問い合わせください。



公衆電話

グリーン・グレーの公衆電話は、災害時優先電話として、一般の電話よりもつながりやすくなります。



遠隔地に連絡中継点をつくる

災害時であっても、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。そこで、遠隔地の親せきや友人などに依頼して、連絡中継点になってもらう方法も有効です。



手作り防災カード（裏面）

手作り防災カード（裏面）

手作り防災カード

手作り防災カード

（折込）防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

（折込）防災カード

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

防災マップ

(折込)

家の目立つ所に貼ってもらう

□非常用持ち出し品、家庭内備蓄品を準備した

非常持ち出し品はあまり多くの荷物をつめすぎると重たくて避難の支障になるので注意を！

非常持ち出し品

常備薬・救急セット

非常用食料

応急生活用品

非常備蓄品・災害復旧までの数日間分準備するもの

非常用食品・飲料

カセットコンロ

その他生活用品

高齢者や体の不自由な方がいる家庭

赤ちゃんがいる家庭

介護・看護用品・おむつ

粉ミルク・哺乳瓶・おむつ

こんなものがあると便利

発行元